

第九十回帝國議會 復興金融庫法案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
復興金融庫法案(政府提出)

昭和二十一年九月十二日(木曜日)午前
十時四十分開議

出席委員

委員長 高橋 泰雄君

副委員長 豐田 清平岡 良藏君

青木 孝義君 石原 國吉君

殿田 孝次君 村上 勇君

寺田 榮吉君 吉米地義三君

本間 俊一君 松本 七郎君

森 三樹二君 藤井 正男君

岡田 勢一君 藤田 繁君

九月十二日委員北村德太郎君辭任ニ付
其ノ補闕トシテ寺田榮吉君ヲ議長ニ於
テ選定シタ

出席國務大臣

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

大藏事務官 福田 勉夫君

大藏事務官 三井 武夫君

農林事務官 大石 倫治君

商工事務官 三木 秋義君

本日ノ會議ニ付シタ議案

復興金融庫法案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス——寺尾議員

○寺尾議員 昨ハ主トシテ日本ノ工業

ト云フモノヲ、今後如何ニ再建シテ

之ヲ推進シテ行クベキカト云フ點ニ付

テ、質疑ヲ申上ゲテ見タイト考ヘル譯

デアリマス、我が國ノ總力ト云フモノ

ガ食糧問題ニ至ク集テサレシマツ

テ居ルガ、百年ノ大計ヲ樹テ、將來
日本ガ文化國家トシテ、先進國ニ對シ
テ少シツツデモ之ニ近寄ツテ、國ヲ進
展サシテ行クト云フ大キナ、茲ニ所
謂國策ヲ樹立シナケレバナラヌデヤ
ナイカ、然リニモ今ノ總力ガ唯我々ガ
生ヲ繫グルコト、生キテ行クト云フコ
トダケニ没頭シテシマツテ、靜カニ考
ヘマス時ニ非常ニ心細イモノガアリハ
セムカ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、殊
ニ最近追加サレマシタ賠償工場、此
ノ撤去等ハ、我々ガ考ヘマシテ愕然タ
ルモノガアル、平和國日本建設ニ對シ
テモ一大脅威デハナカラウカトサヘ考
ヘル譯デアリマス、此ノ際ニ特ニ、將
來ノ日本ガ單ニ農業國デアルト云フコ
トニ止マラス、高度ノ工業國トシテ、
茲ニ根本的ナ所ノ計畫ヲ樹フル必要ハ
ナイカ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、御承
知ノヤウニ、凡ソ大企業ガ崩壞的ナ修
繕タル狀態下ニ於キマシテハ、之ヲ小企
業ヲ基礎トシテ地方ニ分散ラシ、或ハ
之ヲ農村ニ配置シテ、所謂農村ノ工業
化ト云フモノヲ圖ラナケレバナラヌ、
斯様ニ考ヘル譯デアリマス、農林御當
局ト致シマシテ、農村ノ工業化ト云フ
コトニ對シテ如何ナル御施策ヲ持ツテ
居ラレマスルカ、其ノ大體ノコトヲ承
リタイト思ヒマス

○大石政府委員 只今寺尾君ノ御質
問、洵ニ日本再建ニ付テ緊急ニシテ重
要ナル御質問デアルト存ズルノデアリ
マス、日本ノ再建ニ對スル百年ノ計ヲ
定メルニハ、日本全體ノ存在性、日本
全體ノ進路ト云フヤウナモノニ對スル
綜合的ノ大國策ガ定メラレナケレバナ
ラヌ譯デアリマス、然ルニ御話ノ如
ク、今殆ド全國ヲ舉ゲテ食糧問題——
生キネバナラヌ爲ニ總力ガ其ノ點ニ集
中セラレテ居リマスコトハ、又是レ人
間本能ノ然ラシムル所デアリ、先ヅ生
命ヲ保タナケレバ、何事モ、何物モナ
シ得ナイト云フ關係カラ、茲ニ不足ナ
ル食糧飢饉線上ニ彷徨スル國民ニ對ス
ル所ノ解決ノ問題、是等ニ集中セラレ
テ居ルコトト存ズルノデアリマス、雖
テ食糧問題モ漸次安定ノ域ニ向ツテ參
リマスルシ、人心自ラ日本再建ニ向ツ
テ關心ヲ持ツト云フ時期ガ近ク到來ス
ルノミナラズ、敗戦日本ノ戰勝國ニ對
スル賠償ノ關係、詰リ平和條約並ニ平
和條約締結後ニ於ケル日本ト云フコト
ニナリマスレバ、ドウシテモ獨リ農業
國內關係ニ止マル譯ニハ參リマセムメ
デ、隨テ工業モ、又國際貿易モ共ニ之
ニ適應シテ國策ガ樹テラレナケレバナ
ラヌト存ズルノデアリマス、現在ニ於
キマシテモ農村ニ對シテ關心ヲ持タレ
マスルコトハ我々ノ洵ニ望ム所デアリ
マシテ、農林省ト致シマシテハ、現在
及ビ將來ノ農村ヲ如何ニナセバ再建ノ
爲ニ、國民ノ生活安定ノ爲ニ最善ナル
方法デアルカト云フコトヲ考ヘマスレ
バ、御説ノ如ク單純ナル農村トシテ居
ルコトハ甚ダ策ノ得タルモノデナイト
存ジマス、之ニ對シテハヤハリ適當ナ
ル農村工業化ヲ圖ラネバナラヌト存ズ
ルノデアリマス、農村ノ工業化スルニ
當ツテハ、ドウ云フ方向、ドウ云フ程
度ニ之ヲ行フカト云フコトニ付キマシ

テハ、未ダ具體的ノ方策ハ決定致シテ
居ラヌノデアリマスガ、之ニ對シテ
ハ、農林省ト致シマシテモ調査研究ヲ
致シテ適當ナル方策ヲ定メ、指導獎勵
ヲ致サネバナラヌト存ズルノデアリマ
ス、例ヘバ農村工業化ニ當リマシテ
ハ、ドウ程度ノ工業ヲ農村ニ配置スル
ノ適當デアルカ、又農村ト云フモノ
ノ將來ノ耕地面積、人口ノ配置等、幾
多ノ關係ヲ能ク極メネバナラヌノデ
アリマスガ、先ヅ農村ニ對シテハ、現
在ニ於テハ敢テ機械化スル程ノ廣漠タ
ル面積ヲ持タナイ日本農村デアリマス
カラ、手作デモ間ニ合フノデアリマス
ケレドモ、手作デ決イ耕地ヲ守ツテ行
キマスコトハ、現在ノ如ク農村收入ガ
増加シテ居ル時ニ於キマシテハ宜シイ
ノデアリマスケレドモ、萬一食糧ガ過
剩トナリ、其ノ價格ガ下落致シマスル
場合ニハ、農村經濟ト云フモノハ非常
ナル壓迫ヲ受ケルノデアリマスカラ、
之ニ對スル關係モ能ク考ヘマシテ、農
村ノ電化、ソレト同時ニ或ハ農業ノ機
械化デアルトカ、收穫物ノ機械操作デ
アルトカ、サウ云フコトヲシテ茲ニ餘
剩努力ヲ生セシメテ、ソレヲ能ク活用
スル、又農閑期ニ於ケル勞力ノ利用ヲ
充タスト云フヤウナコトカラ、或ハ農
產物ノ加工工業ノ或ハ更ニ輕工業的ノ
木工デアルトカ、或ハ部分品ノ製造デ
アルトカ、幾多サウ云フ方面ノコトヲ
能ク調査研究ヲ致シマシテ、其ノ方策
ヲ定メテ行キタイト存ズルノデアリマ

ス
○寺尾議員 是ハ前ニ農林省ガ發表シ
タヤウニ記憶シテ居リマスガ、我が國
農業ノ發達ノ爲ニハ農村工業ヲ推進ス
以外ニ途ガナイト云フヤウナ建前カ
ラ、農村工業建設案ヲ作成シタト云フ
コトヲ聞イテ居リマス、サウシテ中央
ニ、農林省外局トシテ農村工業建設
局ヲ設置シテ、農村工業ノ指導、獎
勵、監督ニ當ル、更ニ地方廳ニ農村
工業建設課ヲ設ケテ、推進機關トシ
テハ國立又ハ財團法人ノ農村工業研
究指導所ヲ設ケテ、急速強力ニ農村ノ
工業振興ヲ圖ル、而モ其ノ助成金トシ
テ一億二千六百萬圓ト云フモノヲ大藏
省ニ要求ラシテ居ル、是ハ儘カ本年三
月、勿論現內閣ノ案デハナイヤウデア
リマスケレドモ、既ニ其ノ研究ト相當
調期的ニ農村ノ工業化ヲ圖ルト云フヤ
ウナ案ノ發表ガアツタト記憶致シテ居
リマスガ、之ニ臨シマシテ、此ノ前內
閣ノ斯ウシタ農村工業化ノ具體的ナ施
策、之ニ對シテ現農林省ト致シマシテ
ハ、連絡乃至之ヲ更ニ強化スルカ、或
ハ此ノ案ヲ如何ニ取扱ツテ行カレルカ
ト云フコトニ付テ承リタイノデアリマス
○大石政府委員 其ノ計畫ニ付キマシ
テハ、前內閣ノ考ヘ方ヲ現內閣ニ於キ
マシテモ尊重繼承致スノデアリマス
ケレドモ、未ダ現內閣ノ建前ト致シマシ
テハ、具體的ニ直チニソレヲ踏襲ス
ル、或ハソレヲ加除ヲ致シテ案ヲ立テ
タト云フ程度ニハ至ツテ居リマセム、
ソレ等ニ對シテモ研究シタイト思ツテ
居リマス
○寺尾議員 農產物乃至ハ林產、海產
物等ノ加工工業、所謂原料ヲ商品化シ

テ、ソコニ生産ヲ高メテ行カウト云フコトニ付テハ、各地方農山漁村ニ於テ著々實行ニ移サレツ、アル、斯様ニ見ルコトガ出來ルと思ヒマスルガ、只今モ農林次官ノ仰セノアリマシタヤウニ、輕工業、去ル豫算總會デモ農山工商大臣カラ御答辯ガアツテ、先ヅ日本ノ今後ノ産業モ、重點的ナ方向トシテ纖維工業ヲ第一ニシテ、第二ハ所謂原料資材ガ少クテ精度ノ非常ニ密ナモノ、即チ地方等ニ於テ之ヲヤル時ニハ、輸送乃至ハ資材ノ獲得等ノ關係モゴザイマスノデ、斯様ナ輕工業デアリ精密工業、斯ウ云フモノヲ取上ゲテ行クノダ、之ニ重點ヲ置イテ纖維工業ニ次グモノトスルト云フ御答辯ガアリマシタガ、私ハ洵ニ是ハ卓見デアリ、日本ノ工業ノ行キ方、少クトモ工業立國ト云フ所ノ理想ニ、少シデモ堅實ナ計畫ヲ立テテ行クト云フコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、現存地方、特ニ郡等ヲ單位ニシテ農業會同云フヤウナモノガ出來テ居ルヤウデアリマス、御當局トシテハ之ヲ農工業會、斯ウ云フモノニ改組スルト云フヤウナコトニ依ツテ農村ノ工業化、更ニ斯ウシタ農工業會ノ下ニ一ツノ相當ノ設備ト、相當ノ精度ヲ有スル製作ヲ出來ル所ノ工場ヲ持チマシテ、之ヲ更ニ農家ニ直結スル、私ハ年來農村ノ工業化ニ付テ、聊カ興味ヲ關心ヲ持ツテ參ツタモノデアリマスガ、農家即工場、斯ウ云フ形ニ於テ輕工業、精密工業ト云フモノヲ農村ニ於テ十分ヤリ得ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルモノデアリマス、即チ三臺、五臺ヲ結構デアリマスカラ、農家ノ納屋デアルトカ、或ハ土間、斯ウ云ツタヤウナ所ニ之ヲ据付ケテ精密部分品ノ製作ヲヤラセル、ソレ

ナラバドウ云フヤウナ製品ヲ選ブカト云フコトニ付キマシテハ、勿論色々ノモノモアリマセウガ、私ナドノ考ヘテ居リマスル所ハ、「スモール・ツール」トカ、或ハ各種ノ測定器トカ、醫療器トカ、或ハ通信器トカ、其ノ外更ニ進シデハ「メジュアリング・マシーン」ト稱スル極小型デアツテ、而モ非常ナ精度ト價格ノ高イモノ、斯ウ云ツタヤウナモノノ部品製作モ農村ニ於テ十分ヤリ得ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、是等ニ付テ農林次官ノ今ノ御話デハ、未ダ研究中デアツテ、具體的ナ案ヲ得テ居ナイト云フヤウ御話デアリマスカラ、御答辯ヲ御願ヒスルト云フコトコロモ、聊カ私見ニナリマスケレドモ、此ノ農村ノ工業化ノ方法ニ付テ、今少シ申上ゲテ見タイと思ヒマス

然ラバ農村ノサウシタ工業化ヲヤルノニハ、而モソレガ精密工業デアレバ、其ノ技術等ハ二年、三年、或ハソレ以上モ掛ラナケレバ出來ヌノデハナイガ、農夫ガ荒ツボイ所謂耕作ヲヤツテ居ル大キナ手ヲ以テ、精密ナ製品ノ出來ヤウ管ガナイデハナイカ、斯様ニ考ヘラレバヤウデアリマスケレドモ、私ハ此ノ農村ノ工業化ニ於ケル所ノ技術的ナ、或ハ推進力トモナルベキモノハ、今ノ農村ニ澤山居リマス所ノ青年諸君、此ノ青年ニ其ノ中心勢力トナツテ之ヲ擔當シテ貰フ、所謂復員デ歸ツテ參リマシタ者、大都市ノ工場ノ休止ニ依ツテ郷里ニ歸ツテ居リマス者、彼等多クノ青年ノ中ニハ非常ニ優レタ技術者ガ澤山居リマス、是ハ一々舉ゲテ申上ゲルマデモナク、今度ノ戰爭ガ科學戰デアルト言ハレタデケアレマシテ、是等ノ戰爭ニ參畫シタ所ノ青年

達、又技術ヲ持ツテ居ナイ青年達ニ致シマシテモ、其ノ強健ナル體力、堅實ナル思想、是等ヲ以テ彼等ガ農村ニ於テ工業化ト云フ百年ノ計トモ稱スベキ工業立國ノ基礎ヲ擔當スルト云フコトニナリマスナラバ、彼等ノ精神、考ヘ方ト云フモノハ、全ク今マデノヤウナ非協力的ナモノデハナクナルデアラウと思ヒマス、今日或ル地方ニ於テハ、思想的ニモ刻々非常ニ喜バシクナイ方向ニ進シテ居ルト云フヤウナ實情モアリマスガ、ソレハ彼等ガ結局希望ヲ持タナイ、希望アル職業ヲ持タナイカラ左様ニナルノデハナイカ、又左様ニナルノダト私ハ見テ居ル譯デアリマス、殊ニ農村ニ於ケル先輩達ハ、容易ニ是等青年達ニ俗ニ謂フ世ヲ讓ラヌ、何時マデモ自分達ガ村ノ、或ハ町ノ支配ヲシテ行ク、體力モ能力モ持ツテ居ル所ノ青年ニ決シテ大事ナ仕事ヲ渡サナイ、斯ウ云ツタヤウナコトモ、彼等青年ヲシテ何トナク非協力的ナ、極端ニ申シマスナラバ、多少自暴自棄のナ考ヘム向ハシメル譯デ、農村ヲ行脚シテ見マシタ結果カラ申シマシテモ、先輩ト青年トノ間ニ相當深イ思想的ナ「ギャップ」ガ出來テ居ルヤウニ見受けラレルトデアリマス、ソコデ今日特ニ食糧問題ノ非常ニ危機ヲ孕シテ居ル際ニ、農村ニ是等ノ有力有能ノ青年ヲ中心ニシテ、新シイ日本ノ工業ト云フモノヲ打立テテ行クコトガ、實ニ緊急ナル重要事デハナイカと思ヒマス、結局サウジマスルコトガ思想ヲ堅實ニシ、失業問題ヲ解決シ、食糧問題モ併セテ解決ガ出來ル、斯ウ云ツタヤウナ大國策ヲ是非共農林當局並ニ商工御當局ノ御協力ニ依ツテ、一日モ早ク行ツテ戴キタイと思ヒマスガ、之ニ對スル農

林、商工兩御當局ノ一應ノ御考ヘヲ御聽キタイと思ヒマス
○大石政府委員 御意見洵ニ御尤モデアリマス、能ク御意見ヲ風味致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジマス、現在農村ニ於テハ微用工ノ復員デアルトカ、或ハ歸還兵トカ云フ者ノ中ニハ、相當特殊ノ技術ヲ習得シテ歸ツテ居ル者モアルノデアリマス、農村工業化ニ當リマシテハ、先刻申上ゲマシタ通り、部分品ノ製作トカ、纖維品ノ製作トカ云フモノモゴザイマスルガ、先ヅ第一ニ農產物——ト申シマスヨリモ、生産物ノ加工ヲ第一ト致シテ行ク方ガ普通のデハナイカと思ヒマス、又御意見ノ如キモノハ特殊ノ農村、特殊ノ地域ニヤリ得ルコトデアリマスガ、併シ洵ニ結構ナ御意見ダト思フノデアリマス、生産品ト致シマシテハ、農村ニ於ケル綿羊毛飼育ヲシテ行クカラ、其ノ綿羊毛ノ絲ヲ以テ加工シテ物ヲ織ルノデアリマス、或ハ蠶繭ヲ致シマシタ其ノ還元繭ノ活用ニ付キマシテハ、生絲ヲ紡ギ、又ソレヲ纖維品ニマデ持ツテ行クトカ、其ノ他蠶繭工デアリマシテモ、竹ノ細工デアリマシテモ、葛、蓼ノ細工デアリマシテモ、幾多農村ソレ自身ト直接のナル物ガ澤山ゴザイマスカラ、是等ノ物モヤツテ行カネバナラヌト存ジマス、又サウ云フヤウナ精密ナル輕工業ヲ進メマスコトモ、考慮スベキ重要ナ問題ダト存ズル次第デアリマス
○三木政府委員 農村ノ工業化ニ付キマシテノ御意見ガゴザイマシタガ、商工省側ノ考ヘ方ト致シマシテハ、何ト致シマシテモ、今後ノ此ノ日本ノ經濟ノ建直ヲヤリマスル爲ニハ、工業ノ分散、工業ノ振興ト云フコトハ當然必要

ニナツテ來ル譯デアリマス、比較的國土ガ狭小デアリ、而モ非常ナ大キナ人數ヲ此ノ中デ養フテ行カネバナラヌト云フ際ニ於キマシテハ、獨リ農業ノミニ頼ルコトハ出來ナイノデアリマス、工業ノ振興ト云フコトガ當然必要トナツテ來ルと思ヒマス、唯其ノ場合ニ於キマシテモ、比較的資源ノ乏シイ我が國ト致シマシテハ、非常ナ少イ資源ヲ利用シマシテ、比較的高級ノ品ヲ作ルト云フコトガ必要ニナツテ來ルと思フノデアリマス、隨テドウシテモ今後ノ方針ト致シマシテハ、今仰シヤイマシタヤウナ纖維産業、或ハ又精密工業ノ方面ニ進マザルヲ得ナイノデハナイカ、洵ニ御尤モナ御意見デアラウト思フノデアリマス、唯今後ノ工業ノ形態ト致シマシテハ、財閥ノ解體、其ノ他トモ關聯致シマシテ、ドウシテモ中小ノ形ニ持ツテ行カザルヲ得ナイ、中小ノ形ニ持ツテ行クト致シマシテモ、更ニ又地域的ニ之ヲ分散セシメルト云フコトモ、當然考ヘテ參ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、左様ナ場合ニ於テ、日本ノ國土ヲ形成致シマスル最モ大キナ因子デアリマスル所ノ農民、農家ニ頼ラザルヲ得ナイコトハ洵ニ明瞭デアラウト思フノデアリマス、ソレデ此ノ農家ノ力ヲ如何ニ工業方面ニ利用スルカト云フ問題デアリマスルガ、結局今後ノ方針ト致シマシテハ、ドウシテモ農業ノ機械化、或ハ電力化ト云フコトヲヤリマス一面ニ於キマシテ、之ニ依ツテ浮イテ參リマスル所ノ勞力ヲ、工業方面ニ向ケルト云フコトヲ當然考ヘテ參ラナケレバナラヌト思ヒマス、是ニ農村ノ工業化ト云フコトヲ強力ニ推進シテ參ラナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ

今ノ技術ノ方面ニ於キマシテモ、戰爭中ニ都市ニ於テ、或ハ工場ニ於テ習得シタ所ノ青年諸君ガ澤山居ル、其ノ技術ヲ活用スルト共ニ、施設ニ於キマシテモ、軍需工場トシテ休廢止サレタ物ヲ必要ナ方面ニ移ス、其ノ工場ノ建物、或ハ機械設備ニ於キマシテモ、之ヲ農村ニ移シテ、出來ルダケ斯ウ云フ方面ニ活用シテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、洵ニ御意見ノ通り今後ニ於キマス所ノ日本ノ工業ノ建直シノ爲ニハ、ドウシテモ農村ノ力ヲ頼ラナケレバナラヌ、サウ云フ意味ニ於キマシテ農村ノ工業化ヲ急進ニ進メテ參ラナケレバナラヌ、又農藥ノ多角經營ト云フ方面カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ斯ウ云フ方面ニ行カザルヲ得ナイト考ヘルデアリマシテ、御意見洵ニ御達見デアラウト、滿腹ノ實意ヲ表シ、我々トシマシテ出來ルダケノ措置ヲ講ジテ參リタイト考ヘル次第デアリマス

○寺田委員 御答辯十分拜讀致シマシタ、商工省ト致シマシテ、現在占領軍ニ對シテ、日本ノ今後ノ賠償物資ニ向ケルニ致シマシテモ、亦日本ノ新シイ工業製品ヲ賣ル國內消費ニ致シマシテモ、或ハ貿易方面ニ之ヲ使フニ致シマシテモ、唯日本ダケガ自力ヲ總テヤツテ行カウト云フコトニハ、餘リニモ日本ノ實力ガ低下シテ居ル狀態デアリマス、聯合軍ニ對シテ、サウ云ツタヤウナコトニ對スル援助乃至ハ「アメリカ」等カラ何カ資材ノ輸入デアリマス、製品ノ選定デアリマス、カフコトニ付テ、御折衝乃至ハサウ云フコトヲ御交渉ニナツタ、又ナツテイヲツシヤルヤウナコトガゴザイマセウカ

○三木政府委員 我々ノ考ヘ方ト致シマシテハ、只今モ申上ゲタヤウニ、ドウシテモ此ノ少イ資材ノ高度ニ活用シテ參ルコトハ、當然考ヘテ參ラナケレバナラヌコトデ、一方ニ纖維工業或ハ精密工業ノ發展セシメルト同時ニ、他方ニ又日本人獨特ノ技術ゴザイマス所ノ手工業、此ノ工業品方面ニ於キマシテ特段ノ振興策ヲ講ジテ參リタイ、斯様ナコトヲ考ヘテ居リマス、唯斯様ナ場合ニ於キマシテモ、ドウシテモ原材料ガ不足スルコトガ考ヘラレル、特ニ今後ニ於キマス産業再建ノ基礎物資デアル所ノ、或ハ鐵鋼、石炭、鹽、サウ云フ風ナ原材料方面ニ於テ非常ナ不足ヲ來サシテ居ルデアリマシテ、是カ日本ノ産業再建ニ非常ニ大キナ「ネック」ニナルト云フコトガ考ヘラレマス、唯單ニ之ヲ他國ニ頼ルト云フコトノミデハ固ヨリイケマセウガ、我々ド致シマシテハ、國內ニ於キマス所ノ凡ニル財源ヲ總動員シテ之ニ拵カツテ參リタイ、未利用資源ハ當然之ヲ活用スル、或ハ又遊休設備モ之ヲ活用スル、或ハ又其ノ他ノ隱匿藏物資十分ニ動員スルコト云フヤウナ凡ニル手段ヲ講ジテ、國內ノ必要ナル資源ヲ開發スルコト云フコトヲ考ヘマスルケレドモ、ソレデモ尙ホ足ラザル所ハ、之ヲ他國ニ頼ラザルヲ得ナイト考ヘルデアリマシテ、左様ナ方面ニ付キマシテモ、ソレニ適當ナル時期ニ於テ、適當ナル方法ヲ講ジテヤツテ參リタイト思フデアリマス、唯此ノ席上デ、其ノ詳細ナコトハマダ御話スル機會ニナツテ居リマセウ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

○寺尾委員 戰前「アメリカ」ノ資本等ガ日本ノ工業ニ向ケラレテ居ツタト云フヤウナコトハ周知ノ事實デアリマスガ、戰爭ニ依ツテソレ等ガ多ク、殆ド全部デアリマセウガ引揚ゲテシマシタ、終戰後ニ於テ今後ノ日本ノ工業ノアリ方ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトニ關シテ、聞ク所ニ依リマス「アメリカ」資本等モボツ／＼注入ヲサレツ、アルト云ツタヤウナコトモ耳ニ入ル譯デアリマスガ、御發表乃至ハ梗概ガ御聽キ出來マヌナラバ、御説明願ヒタイと思ヒマス

○三木政府委員 事國際的ナ問題ニモ關聯致シマス、マダ詳細ニ御話スル機會ニナツテ居リマセウ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

○寺尾委員 農林省當局位ニ商工省ノ方モ——私本年二月頃ニ農林省ノ農村ノ工業化ト云フモノニ對スル施策ノ大體ノ發表ヲ見マシタ時ニ、洵ニ日本再建ノ爲ニ斯クアルベキデアル、ソレニ依ツテコソ初メテ科學ノ日本モ應デ出來ルデアラウシ、文化ノ國、平和國家ノ建設ガ容易ニ出來ルデアラウ、斯ウ信ジテ、非常ニソレニ期待ヲ持ツテ居ツタ譯デアリマス、今日御聞キ致シマシタ所、未ダ専門的ナ、具體的ナ所マデ案ヲ作ルニ至クテ居ナイト云フ御話デアリマス、若ク失望ハ致シマシタケレドモ、兩政府委員ノ熱意ノアル御答辯ト、今後ノ御方針ニ對スル御決意ヲ拜讀致シマシタ、何卒此ノ點十分ナ御研究ト、一日モ早ク實際ノ仕事ヲヤツテ行クト云フコトニ御努力ヲ願ヒタイと思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○高橋委員長 石原國吉君

○石原(國)委員 昨日與銀ヨリ立替代費ト申シマス、其ノ貸付ノ内譯ヲ拜讀シタノデアリマス、其ノ内譯

ノ中運轉資金ガ三千八百餘萬圓ト云フコトデアリマシタ、是ハ私ノ記憶ガ間違ヒナカッタノデセウカ、若シ四百百幾百萬圓ノ中運轉資金ガ三千八百餘萬圓ト致シマス、設備ニ支出シタ金ハ僅カニ三百萬圓バカリノヤウニ心得マスガ、ソレデハ大體ノ面カラ見テ運轉資金ガ多過ギルヤウニ、貸出方ガ多過ギルヤウニ思フデアリマス、是等ノモノガ或ハ工場ノ工員ニ對スル未拂賃銀ニ振當テルトカ、或ハ殆ド休止同様に工場ヲ運轉スル爲ノ運轉資金ニ當ツテ居ルカ云フヤウナ場合ニ、實際ニ於テ今後ノ復興資金トシテノ性格ガハツキリ認メ得ルモノデアラウカドウカト云フコトニ對シテ、聊カ疑ヒヲ持ツモノデアリマス、此ノ點ヲ一ツ御説明願ヒタイノデアリマス

○福田政府委員 復興金融庫ガ出來マスマデノ暫定措置ト致シマシテ、八月一日カラヤツテ居ルデアリマスガ、實際動キ出シタノハ八月中旬乃至八月二十日位ト見テ宜イカト思フデアリマス、ソレデ昨日御説明申上ゲマシタノハ八月中旬トデアリマシテ、大體下旬ノ極ク短期間ノコトト御承知願ヒタイノデアリマス、其ノ短期間ニ於テ四千百萬圓ト云フデアリマシテ、尙ホ目下續々ト新シイ融資ガ實行サレツ、アリマス、其ノ八月中ニ出來マシタモノノ中デ、運轉資金ガ三千八百萬圓デアツタカト云フコトニ付キマシテハ、左様デアリマス、併シナガラ八月十一日ノアノ經過の「ゴダ」／＼ガアリマシテ、アノ措置ニ關聯シマシテ、運轉資金ノ融通ガドウシテモ付カスト云フノガ相當アリマシテ、此ノ十日間ニ斯様ナモノガ相當出タ、其ノ三千八百萬圓ノ中大部分ノモノハ左様ナ都合ノ

資金デアリマス

○石原(國)委員 私人個人的ノ見解デアリマスルケレドモ、今後ノ復興ト云フモノニ對スル基本ヲナスモノハヤハリ設備デアルト思フデアリマシテ、此ノ設備ト入ト運轉費トガ轉倒シテ居ルト云フコトハ、只今御説明ニ依ツテ、一時的ノ現象ト見マシテ了承シテ置キマスルケレドモ、今後此ノ點ニ付テ大キナ御注意ヲ願ヒマセウト、運轉資金ト云フヤウナモノニハ、トウモ整理未拂等ニ充當スルコト云フヤウナ、我々が固ク主張シテ居ル所ノ整理資金等ニ當メラレルヤウナ疑ヒヲ持ツコトニナリ易イノデアリマシテ、今後ハ絕對ニ此ノ點ニ御注意ヲ願ヒタイト思フデアリマス、ソレカラ復興金融庫ノ貸出利率、其ノ償還方法、償還期限、是等ハドウ云フコトニナツテ居リマス

○福田政府委員 貸出ノ利率ニ付キマシテハ、只今與銀銀行ヨリ貸出シテ居リマスルモノト大體同程度ノモノニ致シタイト考ヘテ居リマス、即チ最低日歩一錢四厘、最高一錢六厘、斯様ナ所ヲ考ヘテ居リマス、尙ホ同收ノ期限ニ付キマシテハ、實情ニ應ジマシテ、或ハ多少長クナルモノモアラウカト思ヒマスガ、個々具體ノ事業ノ性質ニ依リ適當ニ決定スル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石原(國)委員 此ノ利率ガ他ノ銀行ト略々同様デアルト云フコトハ、此ノ金庫ノ性質上、又復興セシメネバナラヌ國民全體ニ對スル貸出資金トシテ、過重ニ過ギルヤウニ思フデアリマスガ、此ノ點ニ對シテハドウ云フ御考ヘデアリマス

○福田政府委員 利率ヲ一般ノ貸出利

ノデアリマスレバ、ソレハ何カ別ノ方法デ御考慮ヲシテヤツテ、此ノ利率ハ相當引下ゲテ安クスルコトガ妥當デアルト云フ希望ヲ玆ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス、尙又此ノ金庫ノ金ヲ興

加工業者ニ對スル配給、一般ノ家庭ニ對スル配給、ソレ等ノ關係ニ付テ御伺ヒシタイ、私共ハ此ノ榮養上最モ必要ナル物資ガ、願ヘクハ其ノ儘ノ形ニ於テ、各メノ家庭ニ多少ナリトモ配給セ

ドウカト思フ、他ノ主食ノ安易ナ生産
國カラ此ノ供給ヲ仰グコトモ、又日本
ノ工業製品其ノ他ヲ其ノ國ニ輸出スル
ト云ウ原因ト申シマスカ、關聯ニモナ
ルト思フメデアリマス、ソユダ此ノ干

ガラ戰争中に於キマシテハ、是等ノ事
業ヲ進捗セシメ、或ハ完成セシメルコ
トガ出來ナカツタノデアリマスガ、之
ヲ復興致シテ漸次計畫ノモノヲ實現シ
テ見マイト存ゾナリト云フガ、リマ

ス。大藏當局ノ役員、御嶽キシタイ
ノデアリマス

○**福田政府委員** 委員會ノ構成ト云フ
ヤウナモノマデモ法律ニ書クト云フコ
トニ依リテ、法律官ニ復シナ

リマス、サナキダニ非常ニ複雑ヲ極メ
ルノデアリマシテ、從來ノ慣行ニ從ヒ
マシテ、勅令ヲ以テ之ヲ定メ、斯様
ナコトニ致シテ譯デアリマス、併シナ
ガラ委員會ノ官制ヲ致シマシテハ、先
般來大蔵、商工兩大臣ヨリモ御答ヘガ
アツタヤウニ、復興金融委員會ハ大蔵
大臣ノ監督ニ屬シマシテ、復興金融
庫法及ビ同施行令ノ規定ニ依リ、其ノ
權限ニ屬セシメラレタル事項ヲ處理ス
ル外、復興金融庫ノ運管上、重要ナ
事項ニ關シテ大蔵大臣ノ諮問ニ應ジ、
又ハ意見ヲ述ベ、斯様ナコトニナツ
テ居ルノデアリマス、非常ニ重要ト機
關デアリマスルコトハ固ヨリデアリマ
ス、隨ヒマシテ、是ガ構成ニ付キマシ
テハ非常ニ慎重ナ態度ヲ取ル譯デアリ
マシテ、繰返シテ申上ケルヤウナ譯デ
アリマスガ、會長ハ大蔵大臣、副會長
ハ安定本部長官、ソレカラ委員ト致シ
マシテハ農林商工兩大臣、日本銀行總
裁、金融界ヨリ二名、產業界ヨリ三名
ト云フ構成デ、此ノ人選ニ付キマシテ
モ最モ公正ナル人ヲ物色致スト云フコ
トニ、目下最高主腦部ニ依ツテ折角努
力中デアリマス

テハ、私通日各方面カラ陳情ヲ激勵
ヤラヲ受ケテ居テ、洵ニ困惑ヲ致シテ
居ルノデアリマス、三木部長モ十分御
承知ノ通り、此ノ企業整備ノ特殊預金
ト云フモノハ、既ニ補償ノ範圍カラハ
離レテ居ル、完全ニ支拂ヲ濟マセテ居
ル、濟マセテ居ルカラコソ茲ニ預金ノ
形ニアルト云フヤウニ考ヘルノデアリ
マス、當時ノ實情カラ見マスル、或
ル一ツノ整備サレレ會社ガ、軍需會社
ニ其ノ工場其ノ他ヲ賣ル、其ノ場合ニ
軍需會社ハ、其ノ整備セラル、會社
ニ、一遍小切手ヲ以テ大體支拂ツテ居
ルノガ普通ノ狀態デアリマス、サウシ
テ其ノ受取ツタ代金ヲ、政府ノ指令ニ
依ツテ所謂特殊預金ト云フ形ニシテ預
ケテ居ル、サウ云ツタモノガ政府ノ考
ヘ方デ支拂ハレナイト云フコトハ、如
何ニモ不可能ナ行キ方デアリマス、將
來ノ政府ノ諸政策ニモ非常ニ惡影響ガ
アルンデヤナイカト云フヤウニ私ハ考
ヘルノデアリマス、況ンヤ此ノ八月十
五日、終戰マデニ色々事情ヲソレヲ
引出シタト云フモノニ對シテハ追求シ
ナイ、其ノ儲蓄策ニ從順ニ、正直ニ特
殊預金ノ形デ置イタモノニ對シテハ、
金額ノ課稅ヲスルト云フコトハ、如何
ニモ道義的ニ見マシテモ理窟ノ上カラ
言ツテモ、肯ケナイヤリ方ダト云フヤ
ウニ考ヘルノデアリマス、同時ニ政府
ノ考ヘ方ハ、一定額以下ハ支拂ヲヤウ
ナコトニ聞イテ居ルノデアリマス、是
ハ之ヲ果シテ特殊預金ノ形ニ於テ其ノ
儲蓄クモノデアアルカ、或ハ此ノ際課稅
以外ノモノハ支拂ヲスルト云フコトデ
アリマスカ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒシ
タイト思ヒマス

リマスガ、私モ商工省ニ居リマシテ、
企業整備ノ直接擔當致シマシタ關係
上、從來ノ沿革ヲ宜ク存ジテ居ルモノ
デアリマス、宜ク存ジテ居リマスダケ
ニ、此ノ特殊預金ヲ切ルト云フコトニ
付テハ非常ニ苦痛ヲ感ズルノデアリマ
ス、只今ノ所之ヲ如何ニ處理スルカト
云フ問題ニ付キマシテハ、マダ關係方
面ニ於テ論議中デアリマシテ、必要ナ
法案ニ付キマシテモ近ク議會ニ出シマ
シテ御檢討願フコトニナツテ居リマ
ス、詳細ノ點ニ付キマシテハ其ノ機會
ニ申上ゲタイト存ジマスルガ、唯政府
側ノ氣持ト致シマシテハ、出來得ルダ
ケ斯様ナ企業整備、詰リ國策ニ殉ジテ
父祖傳來ノ業務ヲ抛ツタ方々ニ對シ
テ、餘リニ苛酷ナ取扱ニナラヌヤウニ
シタイ、出來ルダケ便宜ナ取扱ヲシタ
イ、斯様ナ氣持デ善處シタイト考ヘテ
居リマス、御諒察願ヒマス

同時ニ此ノ金融機關等ニ預入ガ出來ナ
イト云フヤウナコトハ、信用ガ經濟ノ
根幹ヲ成スモノデアルト云フヤウナ見
地カラモ、非常ニ重大ナ事態デアルト
私ハ思フノデアリマス、今朝ノ新聞ニ
散見致シテ居ツタヤウデアリマスガ、
大蔵大臣ガ新聞ニ對シテハ處置ヲシナ
イト云フヤウナ聲明ヲシタヤウナコト
ガ見エテ居リマス、私ハモウ少シ強力
ニ、有效適切ナル處置ヲ致シマシテ、
此ノ「デマ」ヲ一掃スルト云フコトガ、
喫緊重要ナ處置デアラウト考ヘルノデ
アリマス、福田政府委員ノ御考ヘヲ御
聽キシタイト思ヒマス

○福田政府委員 只今ノ御説ハ洵ニ御
尤モナ次第デアラウカト思フノデアリ
マス、最近特ニ此ノ兩三日ニ於キマシ
テ、惡性ナ「デマ」ガ横行シテ居リマ
ス、昨日紙上ヲ見マス、三億何千萬
圓ト云フ資金ガ放出ニナツテ居ルノデ
アリマスガ、或ハ十月一パイニ新聞證
紙貼付ノ札ヲ引換ヘルト云フヤウナコ
トヲ感ズシタ向モアルノデハナイカ
ト思フノデアリマスガ、根本ハ通貨六
百億、愈々新聞ノ處置ヲヤルゾト云フ
コトガ根本ノ原因デアツタヤウニ銀行
筋カラ報告ヲ受ケテ居リマス、斯様ナ
惡性「デマ」ガ横行スルト云フコトハ遺
憾ナコトデアリマシテ、之ニ付キマシ
テハ、御説ノ通り、政府トシテ斷乎タ
ル態度ヲ執ル必要ガアラウカト思フノ
デアリマス、大蔵大臣ニ於キマシテ
モ、其ノ具體的方法デ色々考ヘテ居ル
ト思ヒマスガ、是ハ後刻大臣ヨリ御答
辯アルコトト思ヒマス

○平岡委員 私人質問ハ終リマシタ
ス、尙ホ大蔵大臣ハ午後二時頃此ノ委
員會ニ御出席スルコトニナルト云フコ
トデアリマス、仍テ午後一時ニ開會
致シマス

午後二時十八分開議
○高橋委員長 休憩前ニ續イテ會議ヲ
開キマス——町田三郎君

○町田委員 主管ノ問題ニ付テ、大蔵
大臣カラハ大蔵省ノ主管ダト云フ御同
答ガアリマシタシ、商工大臣カラハ、
大蔵省ト商工省トノ共同主管ダト云フ
御話ガアリマシタノデスガ、其ノ點兩
大臣ノ御話ハ食違ツテ居ルト思フノデ
スガ、其ノ點ニ付テ更ニ改メテ御伺ヒ
致シマス

○石橋國務大臣 所管ナドト云フコト
ハ私ハ餘リ興味ヲ持タナイデ、ドウデ
モ宜イデスケレドモ、實ハサウ云フ商
工大臣トノ共管ト云フ話ガアツテ、私
トシテハ一向差支ヘナイノデ、一寸其
ノ引懸リガアリマシテ、今日マダ私カ
ラ共管ニスルトカ何トカ言ヘナイ立場
ニアルノデス、事情ハ心得テ居ルノデ
アリマスガ、一應兎ニ角大蔵大臣ノ主
管デアアル、アトハ善處スルト云フコト
デ昨日御答ヘシテ置イタ譯デアリマ
ス、今日モドウカ其ノ點デ御諒察ヲ願
ヒタイノデアリマス

○町田委員 其ノ問題ニ付テハ僕モ餘
リ興味ガナイノデスガ、唯兩大臣ノ御
話ガ食ヒ違ツテ居ルノハマズイト思フ
モノデスカラ、ソレヲ御尋ネ致シタノ
デアリマス、ソレカラ商業者ニ對スル
金融ニ付テ、復興金融庫ハ大蔵大臣
ノ御話ニ依レバ、商業者ニモ金融スルト
云フ御話デアリマスガ、商工大臣ハ商
業者ニハ金融シナイト云フ御話デアツ
タ、ソレハ工業者ニ金融スルコトニ依
ツテ間接的ニハ商業者ヲモ潤スコトニ

ハナラウケレドモ、直接商業者ニハ金融シナイト云フノデハ、此ノ點兩大臣ノ御説ガ食違ヒマスノデ、更ニ御尋ネシタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 商工大臣ガドウ云フ答ヘサレタカ、何カ一寸誤解ガアツタノデハナイカト思ヒマス、復興金融庫ハ決シテ商業者ニ金融シテハナラヌト云フコトハドコニモ書イテアリマセヌ、又我々ノ考ヘトシテモ、經濟復興ニ必要ナモノニハヤラウト云フ、相當ノ見地ヲ以テヤルコトニナツテ居リマスカラ、商業者ニハ金融出來ナイト云フコトハアリマセヌ、何カ商工大臣ガドウナカノ質問ヲ誤解サレタカ、或ハ思ヒ違ヒラシタノデハナイカト思ヒマス

○町田委員 私モ商業者ニハドウシテモ金融シテ戴カレバナラヌト思フノデ、ソレデ其ノ點ニ付テ特ニ念ヲ押シテ御尋ネシタ譯デアリマス、尙ハ復興金融庫ハ、戰災者トカ企業整備ニ依ツテ廢業シタ者トカヲ、特ニ援助スル爲ノ金融デハナイト云フ御説明ガアリマシタニモ拘ラズ、ソレ等ノ者ニ對シテハ何等カノ處置ヲ講ジテヤリタイト云フ大藏大臣ノ御話ガアリマシタ、ソコデ其ノ何等カノ處置トハ、此ノ金融庫ニ依ツテ處置ヲ講ジテヤリタイト云フノカ、若シカハ他ニ何カ大藏大臣ノ御考ヘニナルコトガオアリニナルノデスカ、其ノ點ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 大藏省ノ仕事ト致シマシテハ、特ニ際立ツテ戰災者或ハ引揚者等ニ特別ノ處置ヲスルト云フコトハアリマセヌ、サウ云フコトハ只今考ヘテ居リマセヌガ、何ト申シマスカ、金融庫ニ於ケル金融モ、特ニ戰災者

ダカラ、引揚者ダカラト云フコトハ言ハナイ譯デアリマス、併シ實情ハサウ云フ方々ガ殊ニ金融ノ必要ヲ感ジテ居ルノデスカラ、サウ云フ方面ニハ無論、特別ト云フ言葉ヲ使フコトハ違フカモ知レマセヌガ、含ミトシテハ特別ト言ツテ宜イカモ知レマセヌ、出來ルダケノ便宜ヲ圖ル、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○町田委員 ソレカラ是ハ數回質問者ガアツテ、一應ノ回答ハ御聽キシテ居リマスケレドモ、尙ホ一ツ重ネテ御尋ネ救シタイト思ヒマスコトハ、大工場、大會社ノ救済ニナリハシナイカト云フ懸念ト、中小企業ニ對スル貸出ガ案外出來ナイノデハナイカト云フ懸念ガアルノデスカ、中小企業者ニ貸出シガ出來ナイト云フハ、中小企業者ノ方ニ借リタイト云フ意思ガナクテ貸出ガ出來ナイノデハナク、此ノ機關ヲ能ク知ラナイ爲メトカ、若シカハ手續ガ非常ニ面倒デアルトカ云フヤウナ理由ガ一ツト、ソレカラ金融機關ノ方カラ言ヘバ、大キイ工場、大キイ會社ニ對シテハ相當價額ニ手數ヲ掛ケテ調査スル便宜モアルケレドモ、小キイ企業ニ對シテハ多少面倒臭イト云フ傾向モアルデハナイカト思ヒマス、ソレニ對シテ大藏省モ恐ラク中小工業本位ト云フ風ニ考ヘテ居ラレノカドウカ、其ノ點ヲモウ少シ明カニシテ戴キタイ、我々ノ希望トシテハ、中小工業本位ニシテ戴キタイト思フノデスカレドモ、ソレニ付テドウ云フ風ナ工作ヲオヤリニナル御意思ガアルカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○石橋國務大臣 是ハ復興金融庫ニシマシテモ、馬ノヤリ方デ、御話ノヤ

ウナ大企業ノ救済ニナルト云フヤウナ懸念ガナイトハ言ヘマセヌガ、建前ハ左様ナ譯デアナイ、委員會モ設ケテ、ソコデ特ニ大キナ金融ニ付テハ嚴重ニ審査モスル譯デアリマスカラ、所謂大企業ニ對シテ特別ノ便宜ヲ圖リ、元來成立ツベカラザルモノヲ其ノ金融ニ依ツテ成立タセル、救済スルト云フコトハ事實上起ラナイト思ヒマス、又當事者ニモ左様ナコトヲヤラサヌヤウニ嚴重ニ言ウテ經營シテ貰ハウト思ツテ居リマス、ソレカラ中小企業ノ方ハ御話ノヤウニ確カニ金融方面倒デアリマス、ソレ故ニ普通ノ金融機關ダト、第一手數ガ掛カルノデ厭ヤガル、大口ノ貸金ノ場合ハ手數ガ少クテ利益ガ多イ譯デアリマスカラ、自然大口ノ方ニ行ク譯デアリマス、併シ御承知ノヤウニ、普通ノ金融機關デモ特ニ中小企業ヲ中心トシテヤラウト云フ建前ノ銀行ハ、曾テハ例ヘバ第百トカ、大阪ノ三和トカハサウ云フ建前ノ金融機關デアリマシタガ、ソレ等ハ非常ニ能ク面倒ヲ見テ與レタ譯デアリマス、最近デハサウ云フモノハドレ程ヤツテ居ルカ分リマセヌガ、今度ノ復興金融庫ニ於テハ、ソレ等ハ非ヤラウ、此ノ間カラモ申シマセヤウニ、サウ云フ方面ニ對シテハ企業ノ指導ト云フコトデ、積極的ナ世話マデシテ見タイト考ヘテ居リマスカラ、其ノ方ヘハ相當手ガ願タラウト思ヒマス、唯中小企業ガ非常ニ金融ニ困ツテ居ルト云フコトハ、私モ抽象的ニ聞クノデアリマス、又事實困ジ仕事ガ出來ナイ關係カト思ヒマス

○町田委員 是ハ復興金融庫ニシマシテモ、馬ノヤリ方デ、御話ノヤ

○石橋國務大臣 是ハ復興金融庫ニシマシテモ、馬ノヤリ方デ、御話ノヤ

融金庫バカリデナイ、現在地方ニ於テハ、財務局ヲ中心ニシテ、サウ云フモノハ申込ラシテ與レバ一々ノ場合ニ付テ十分親切ニ取扱フ、東京ニ於テハ大藏省ニ直接持ツテ來テモ宜シ、石橋ノ所ニ手紙デ寄越シテモ宜イ、私ハ來ル手紙バドナ手紙デモ眼ヲ通シテ居ルカラト云フモノ一通モ來マセヌ、地方ノ財務局ニ於テモソレ程申込ハ聽キマセヌ、多分仕事ガ拂々シク行カナイノデ、金モ欲シイガ、借テ具體的ニ申込ム段階ニナツテ居ナイノデト思ヒマス、是ハ却テ憂フベキ現象デアリマスガ、實情ハサウナツテ居リマス、ソレカラモウ少シ仕事ヲ積極的ニ世話ヲシテヤルコト云フ方面カラヤラヌト、實ハ中小企業ノ金融ハ、抽象的ニヤラノ言ツテモ申込ガナイノデハナイカト思ヒマス、其ノ點モ考ヘテ居リマス

○町田委員 融金庫バカリデナイ、現在地方ニ於テハ、財務局ヲ中心ニシテ、サウ云フモノハ申込ラシテ與レバ一々ノ場合ニ付テ十分親切ニ取扱フ、東京ニ於テハ大藏省ニ直接持ツテ來テモ宜シ、石橋ノ所ニ手紙デ寄越シテモ宜イ、私ハ來ル手紙バドナ手紙デモ眼ヲ通シテ居ルカラト云フモノ一通モ來マセヌ、地方ノ財務局ニ於テモソレ程申込ハ聽キマセヌ、多分仕事ガ拂々シク行カナイノデ、金モ欲シイガ、借テ具體的ニ申込ム段階ニナツテ居ナイノデト思ヒマス、是ハ却テ憂フベキ現象デアリマスガ、實情ハサウナツテ居リマス、ソレカラモウ少シ仕事ヲ積極的ニ世話ヲシテヤルコト云フ方面カラヤラヌト、實ハ中小企業ノ金融ハ、抽象的ニヤラノ言ツテモ申込ガナイノデハナイカト思ヒマス、其ノ點モ考ヘテ居リマス

○町田委員 融金庫バカリデナイ、現在地方ニ於テハ、財務局ヲ中心ニシテ、サウ云フモノハ申込ラシテ與レバ一々ノ場合ニ付テ十分親切ニ取扱フ、東京ニ於テハ大藏省ニ直接持ツテ來テモ宜シ、石橋ノ所ニ手紙デ寄越シテモ宜イ、私ハ來ル手紙バドナ手紙デモ眼ヲ通シテ居ルカラト云フモノ一通モ來マセヌ、地方ノ財務局ニ於テモソレ程申込ハ聽キマセヌ、多分仕事ガ拂々シク行カナイノデ、金モ欲シイガ、借テ具體的ニ申込ム段階ニナツテ居ナイノデト思ヒマス、是ハ却テ憂フベキ現象デアリマスガ、實情ハサウナツテ居リマス、ソレカラモウ少シ仕事ヲ積極的ニ世話ヲシテヤルコト云フ方面カラヤラヌト、實ハ中小企業ノ金融ハ、抽象的ニヤラノ言ツテモ申込ガナイノデハナイカト思ヒマス、其ノ點モ考ヘテ居リマス

利用出來ルヤウニナツテ、本當ニ有效ナ點キヲスルヤウニナルデハナイカト思ヒマス、其ノ點ハ大臣ト同感デアリマス、是非一ツサウ云フ方向ニ進ンデ戴キヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 議會トスフ云フモノノ關係ハ、理論的ニ考ヘハ實際的ニ考ヘテモ、實ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、私ハ建前トシテ、成ルベク各種ノ委員ナドニハ、兩院ト云フヨリモ寧ろ衆議院中心ノ委員會ヲ作ツテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、併シ何モ彼モサウスルト云フコトガ宜イカドウカト云フコトニハ相當疑問ガアリマスカラ、ソコニハ自ラ又何ト申シマスカ、所謂三權分立ト云フヤウナ考ヘ方カラ言ヒマス、衆議院ガ餘リ行政的ナ所ヘマデ入り込ムト云フコトガ善イカト云フコトヨリモ、ソコヘ何デモ入ルト云フコトハ、議會ノ爲ニモド

○石橋國務大臣 議會トスフ云フモノノ關係ハ、理論的ニ考ヘハ實際的ニ考ヘテモ、實ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、私ハ建前トシテ、成ルベク各種ノ委員ナドニハ、兩院ト云フヨリモ寧ろ衆議院中心ノ委員會ヲ作ツテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、併シ何モ彼モサウスルト云フコトガ宜イカドウカト云フコトニハ相當疑問ガアリマスカラ、ソコニハ自ラ又何ト申シマスカ、所謂三權分立ト云フヤウナ考ヘ方カラ言ヒマス、衆議院ガ餘リ行政的ナ所ヘマデ入り込ムト云フコトガ善イカト云フコトヨリモ、ソコヘ何デモ入ルト云フコトハ、議會ノ爲ニモド

ウカト思フ、殊ニ之ハ金融ノ實際ニ關
與スル委員會アリマスカラ、餘リ政
治ト直結シテハ困ル、是ハ「アメリカ」
アタリノ實情ニ見テモ左様ノヤウデ
ス、現ニ角政治上カラ直結スルコト
ハ、斯様ナ金融機關デハ宜クナイ、其
ノ點ハ注意スル必要ガアリマス、コン
ナ譯デ貴衆兩院カラ委員ヲ採ラヌト云
フ譯デハアリマセヌガ、併シ貴衆兩院
議員トシテハ一應採ルマイ、全ク「エ
キスパーリ」トシテ入ツテ戴カウ、斯ウ
考ヘテ居リマス

○町田委員 其ノ問題ハ非常ニ「デリ
ケート」ナ問題デ、嘗テ政黨華カナリ
シ頃ニ、政黨人ガ凡ル部面ニ容喙シ
タ爲ニ、日本ノ政黨政治ヲ墮落セシメ
タト云フ歴史ヲ持ツテ居ルノデ、其ノ
點ニ付テハ議會自身モ能ク戒心シナケ
レバナラヌト思ツテ居リマス、レド
モ、併シ又何ト云フデモ議會ハ國民ノ
意見ヲ代表スル所デアリマスカラ、此
ノ意見ヲ何等カノ形デ採入レテ貰フト
云フコトハ、非常ニ肝要ノコトデハナ
イカト思ヒマスガ、其ノ限度ハドノ限
度ニ止メルノガ適當カ、是ハ中々難カ
シイ問題ト思ヒマス、併シ議會
ノ意思ヲ反映セシムルコト云フコトニ付
テハ、一ツ當局者モ御考ヘニナツテ戴キ
タイト思ヒマス、尙ホ是ハ少シ大キイ
問題デシ、屢ニ繰返サレテ居ル問題
デスガ、日本ノ工業ノ再建ガ容易ニ出
來ナイデ居ルト思フノデスケレドモ、
之ニ付テハ大藏大臣初メ政府ノ當路者
モ、總テ生産ノ増強ニ付テ心カラ御心
配ナスツテオイデニナルト思フノデ
ス、併シ現實ニ行ハレテ居ル政策ト云
フモノハ、生産ヲ阻害スルヤウナ政策
バカリ行ハレテ居ルト私ハ思フノデ
ス、例ヘバ三月二日ノ圖ノ封鎖ニ致シ

マシテモ、六月二十一日ノ處置ニ致シ
マシテモ、ソレカラ今度ノ第一封鎖、
第二封鎖ノ處置ニ付キマシテモ、其ノ
最高ノ狙ヒハ生産ノ増強ニアルデラウト
思ヒマスガ、現實ニ現ハレタ影響ト云
フモノハ、却ツテ金融ノ措置ニ依ツテ
生産ノ増強ヲ害シテ居ルト思フノデ
ス、之ニ付テハ更ニ根本的ナ政策ヲ施
サナケレバ中々生産ハ増強シナイノデ
ヤナイカト思ヒマス、私ノ考ヘハ、非
常ニ素朴ナ考ヘヲ申上レバ、斯ウ云
フ風ナウルサイ色々ナ、制限ヲ取ツテ
シマフ方ガ宜イノデヤナイカ、是非
常ニ素朴ナ考ヘデスケレドモ、何等カ
ノ處置ヲ講ジナケレバ——其ノ處置ト
云フノハ、段々ウルサクシテ、縛ツテ居
ル上ニ又縛リ掛ケテ縛ルコト云フヤウナ
サウ云フ處置デナク、モット之ヲ切離
シテ、サウシテ生産活動ガ自由ニ出來
ルト云フヤウナ、サウ云フ方向ノ處置
ヲ講ジナケレバイケナイノデヤナイカ
ト思フノデスケレドモ、大藏大臣ハ「サ
ウ云フ御考ヘハオアリニナルカナラナ
イカトヒマス

○石橋國務大臣 御尤モナ御考ヘデ、
私モ豫メ「サウ云フ考ヘ方デアリマ
ス、餘リ「インフレ」「インフレ」トバ
カリ言フトイカスト云フコトヲ申シテ
居リマシタノモ、サウ云フ建前カラデ
アリマス、一應整理スルモノハ整理シ
ナイト建直シガ出來マセヌカラ、ソレガ
デ現在其ノ整理段階ニ入ル、ソレガ
稍々私ノ考ヘヨリモ、全體ノ法案ヲ出
ス等ノ時間ガ少シ延ビテ居リマシテ、
甚ダ其ノ點邊ニ感ジテ居リマス、出
來ルダケ早イ間ニ整理スベキモノハ一
應整理シテ、サウシテ今日ノ面倒ナ色
色ナ制限ハ早く解キタイト考ヘテ居リ
マス、其ノ時間ノ出來ルダケ早く來ル

コトヲ希望モ致シマスシ、又左様ニ今
後努力シタイト思ツテ居リマス
○町田委員 新圖ニ對シテ様々ナ「デ
マ」ガ飛ンデ居ルト云フコトハ、大臣
ニ於カレテモ御承知ノコトト思フノデ
スガ、此ノ種ノ「デマ」ト云フモノハ根
モ葉モナイ所ニ起ルノデハナク、「デ
マ」ガ起ル時ニハ「デマ」ガ起ルヤウナ
相當ノ根據ガアルト思フノデス、全然
根據ノナイヤウナ「デマ」ナラバ直グニ
消エテシマヒマスケレドモ、根據ノア
ル「デマ」ト云フモノハ中々消エナイト
思フノデス、此ノ新圖ニ付テ行ハレテ
居ルヤウナ「デマ」ハ相當據リ所ガアツ
テ、サウ簡單ニ權力ヤ何カデソレヲ封
ジヨウトシテモ、此ノ「デマ」ハ中々消
エナイト思フノデス、ソレニ付テハ私
ノ考ヘハ、今言フヤウナ色々ナ拘束ヲ
解クコトニ依ツテ、今縛ツテアルモノ
ヲ解クコトニ依ツテ、新圖ニ對スル信
用ヲ増シ、「デマ」ヲ封ジルコトガ出來
ルノドト云フヤウニ考ヘテ居リマス、
今ノヤウナ處置ヲ其ノ儘ニシテ置イ
テ、サウシテ新圖ニ對スル「デマ」ヲ封
ジヨウトシテモ、ソレハ迎モ私ハ封ジ
レトルモノデハナイト思フノデス、ソ
レニ付テハ大藏大臣ハドウ云フヤウナ御
考ヘテ御持チニナルカ、御處置ヲ御執
リニナル御考ヘハナイカドウカ

○石橋國務大臣 實ハ私モ其ノ「デマ」
ガ色々飛ンデ居ルト云フコトヲ聞キマ
スガ、ドンナ「デマ」ガドノ程飛ンデ居
ルカト云フコトヲ能ク承知シマセヌ
カ、併シ今ドウシテソノ承知ガ出ルノ
カ、其ノ出所ニ付テハ一寸調ベサシテ
居リマスケレドモ、是ハ御説ノヤウニ
又私ガ始終申シマスヤウニ、根本ニ於
テ新圖、舊圖ナドト云フモノガアルカ
ヲ起ルノデアリマシテ、サウ云マ區別

ヲナクナセバ、「デマ」ヲ飛バサウト思
ツテモ種ガ全クナクナル譯デアリマ
ス、出來ルダケ早イ機會ニ新圖、舊圖
ノ區別ハ撤廢シタイ、斯ウ考ヘテ居リ
マスガ、其ノ時期ガ何時ニナルカト云
フコトハ、今ヤツテ居リマス處置ガモ
ウ少シ進行シマシタ上デ見定メタイト
思フノデアリマス、ソレマデノ間或ル
時間ガマダアル譯デアリマスガ、其ノ
間ニ色々「デマ」ガ飛ブト云フコトモ
洵ニ面白クナイコトデアリマスカラ、
一面ニ於テハ一體ドウ云フ人達ガサウ
云フ「デマ」ヲ振擲イテ居ルノカト云フ
コトヲ調ベテ見ヨウト思ヒマス、ソレ
カラ出來ルダケノ機會ニ、ソレガ何等
根據ノナイコトデアルト云フコトモ、
無効カモ知レマセヌガ、繰返シテ述ベ
テ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○町田委員 私人質問ハ以上ヲ以テ終
ルコトニ致シマス
○高橋委員長 青木孝義君
○青木(孝)委員 私人一ツ御尋ネヲ致
シタイト思ヒマスガ、先程主管ノ問題
ニ付テハ大藏大臣ガ、自分ハ其ノ點ニ付
テ餘リ興味ヲ持タヌケレドモ、大體前
ニ答ヘタヤウナコトデ諒承シテ貰ヒタ
イ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、私
ノ記憶致シテ居リマス所デハ、私ガ本
會議デ其ノ點ヲ質問致シマシタ時ニ、
商工省トノ共管ト云フ言葉ヲ御使ヒニ
ナツタカドウカハツキリ覺エテ居リマ
セヌガ、ドウモソレハ共管ト云フ風ニ
私ハ承ツタノデアリマス、デスカラ今
日此處デ承リマスル、ソレガ少シ違
フヤウデアリマスガ、ドウ云フ點デソ
レヲ明確ニ御答ヘテ願フコトガ出來ナ
イデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ御伺
ヒ致シタイ
ソレカラモウ一ツハ、之ニ關聯シテ

簡單ニ御尋ネ致シマス、復興金融委員
會ノ構成ノ問題デアリマスガ、先程之
ニ議會人ガ參加スル——議會人ト云フ
言葉ガ適當デアルカドウカ分リマセヌ
ガ、參加スルコトハ餘リ好マシクナイ
ト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマ
スガ、私ハ此ノ復興金融委員會ト云フ
ヤウナモノニ、今後議會人ガ加ハルト
云フコトハ、過去ニ於キマス日本ノ政
治上ニ於ケル餘リ良クナカッタ關係ト
云フヤウナモノトハ大分違フノデハナ
イカ、ト云フコトハ、御承知ノ通り
ニ、戰爭中ニ於キマス金庫ト名ノ付
イタヤウナモノハ、是ハ必ズシモ好成
續ヲ舉ゲテ居ツタモノデハナイト云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ今日
ノヤウナ時期ガ到來致シマシテ、之ヲ
勅令決定メルトカ、或ハ此ノ法律デ定
メルトカ云フコトハ問題ニ致シマセヌマ
デモ、大藏大臣モ十分其ノ點ヲ御承知
ダト存ジマスガ、委員會ノ構成ニ付テ
振合ト云フヤウナモノガ新聞ニ發表サ
レテ居ツタト思ヒマス、何シロ今日マ
デノ日本ノ官僚政治、斯ウ云フコトヲ
言ハシテ居ツタ間ハ、其ノ點ガ凡ル部
面ニ透達シテ、サウシテ其ノ弊害ハ極
メテ大キナモノデアツタコトガ分ルノ
デアリマシテ、今回ノヤウナ場合ニ於
キマシテハ、モウ少シ「オープン」ニ人
ヲ入レテ、凡ル界ノ意見乃至ハ其ノ
意向ニ從ツテ、適切ニ之ヲ行ツテ行ク
ト云フコトガ大切ナノデハナイカ、其
ノ爲ニ非常ニ複雜ニナルト云フコトカ
ラ、其ノ事務ガ拙速ニ行カナイト云フヤ
ウナコトガ起ルカモ知レマセヌガ、併
シ私共ノ考ヘマス所デハ、第一是マデ
ノ經過ヲ見マシテモ、先ゾ大藏省ハ日
銀ヲ曉ンデ居ル、日銀ハ又一般金融機
關ヲ曉ンデ居ル、更ニ一般金融機關ハ

サノ非僅ニ少ナ過ギルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ百億ヲ限定シテ、サウシテ足りナカッタナラバ又直グ議會ニ掛ケテ増資スルト云フヤウナ御話モゴザイマシタケレドモ、斯ウ云フモノハ一遍法律ニナリマス、中々サウ簡單ニハ行カナイモノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレデ私ハ實ハ修正案ヲ出サウカト考ヘタノデアリマス、其ノ修正案ハ、復興金融債券ノ發行額ハ拂込金額ノ五倍ヲ超ユルコトガ出來レバ、ト云フヤウナ出来ニデモシマスレバ、相當ノ資金ガ出來サシ、其ノ取捨ハ情勢ニ應ジテ加減ガ出來ル、斯ウ思フノデアリマス、此ノ方ガ確カニ宜イト私ハ思ヒマスガ、四國ノ情勢上此ノ際百億ヲ超ユルコトガ出來ナイト云フコトデアリマス、此ノ事業ノ復興ト云フモノハ中斷シテハ、ヤハリ效果ガナイノデアリマシテ、引續イテ後ノ資金ガ出ルノダト云フ前提ガアリマスレバ、極ク圓滑ニ產業ノ復興ガ出來ルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、若シ此ノ法案ヲ其ノ鐵道スト致シマシテモ、前途足リナイト云フコトデアリマスレバ、ナクナツテ行詰ラナイ中ニ早ク法案ノ改正ナリ、或ハ資本ノ増加ナリヲヤツテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマシテ、此ノ點ハハツキリト一ツ大臣ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○石橋國務大臣　從來ノ日本ノ斯ウ云フ種類ノ金庫トカ、銀行トカ云フモノデアリマス、今ノ修正案ヲ御出シニナラウカト云フ御話ノヤウニ、何倍ノ債券ヲ出スト云フ行キ方デ行ク譯デアリマス、今度ノハ色々ノ關係カラ全部ノ資金ヲ豫算デ出サウ、斯ウ云フコトニナツテ、或ル意味ニ於テ弱點ナ譯デ

アリマスガ、一應百億圓トシタ譯デア
リマス、併シ是ハ豫算ヲ出スノデアリ
マスカ、ドウセ今度四十億圓拂込ミ
マシテ、アトノ六十億圓ハ必要ナラバ
債券ヲ出シテ金融シテ行ク、債券ヲ出
シマシテモ、次ノ議會ニハ其ノ債券ヲ
落スヤウニ豫算ヲ出サナケレハナラヌ
ト云フコトニナリマス、今後議會
ハ類案ニ開カレマスシ、私ハ百億圓デ
賄ツテ居ル中ニ、アトノ必要ガアレバ
寧ろ結構ト思ヒマス、百億圓デ足ラ
ナク追加豫算ヲ次ノ議會デ出サナケ
レバナラヌ、斯ウ云フコトニナレバ大
變結構ト思ヒマス、無論其ノ場合ハ
豫算ノ御審議ヲ願ヒマシテ、資本金ヲ
増スコトニ致ス積リテ居リマス

○苦米地(義)委員 ソレデ結構ト思
ヒマス、先程ノ御話ニ、資金ノ需要ガ
割合ニ少イト云フコトデ、此ノ間モサ
ウ云フ御意見デアリマシタガ、現在ノ
物價關係カラ申シマシテ、前回ニモ申
上ゲタヤウニ、金融ノ方面モ、或ハ企
業方面モ縮病ノ大症狀ヲ現ハシテ居
ルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置イタノデ
スガ、現在ノ産業ノ狀態ハ私ハサウダ
ト思フデアリマス、ソレデアリマス
カラ、少クトモ此ノ物價ノ安定ガツカ
ナイ限り、企業ノ復興意欲ト云フモノ
ハ萎縮病ノニナツテ居ルノデヤナイ
カ、私ハ之ヲ寧ろ心配スルモノデアリ
マス、金融ノ方面ニ於テモ確カニサウ
云フ傾向ガ見エマス、ソコデ此ノ金庫
ノ方面ノ運籌カラ申シマスレバ、運籌
資金ハ大體市中銀行デ處分出來ル、此
處(來ルモノハ大部分固定資本ニ投下
サレル要求ト思フデアリマス、サ
ウシマス、此ノ論デ以テ復興シマス
産業ハ、物價ノ安定ガナイ限り非常ニ
危険ニナリマス、ソレデアリマスカラ

物價ノ安定ヲ何處ニ抑ヘルカト云フコ
トヲ、軍ホテモウ一遍伺ヒタイト思フ
ノデス、今申上ゲルヤウニ、若シ米價
ヲ生産者價格ノ六百圓ニ抑ヘマスレ
バ、總テノモノガ其ノ標準ニ依ツテ物
價ガ決リマス、其ノ物價ニ依ツテ企業
ガ設備サレルノデアリマス、然ルニ消
費價格ガ四百五十圓デハ、ソコニ三割
ノ食糧ヒガ出來ル、若シ政府ガ物價ヲ
今ノ消費價格デ抑ヘヨウト云フコト
デ、ソレガ假リニ成功スルトスレバ、
現在ノ此ノ三割高ノ投資ト云フモノ
ハ、其ノ時ニナレバ非常ニ薄弱ナ企業
體ニナル譯デアリマス、ソレデアリマ
スカラ企業ノ方ハ非常ニ迷ツテ居ル狀
態デアリマシテ、隨テ資金ノ需要ガ割
ニ起キナイト云フ、一種ノ正常デナイ
萎縮病ノ大症狀ガ現ハレテ居ルト思フ
デアリマス、之ヲ直スニハ、ドウシ
テモ物價ノ安定策ヲ早ク講ジナケレバ
ナラヌト云フコトガ前提ト思フデア
リマスガ、政府ハ一體物價ノ水準ヲ
何處ニ抑ヘヨウト云フ御見解デアリマ
セウカ、此ノ點ヲモウ一度伺ヒタイト
思ヒマス

○石橋國務大臣 是ハ安定本部デ立案
シ、物價會議ニ掛ケテ定ムベキモノデ
アリマセウカラ、私カラ茲デ御答ヘス
ルコトハ或ハ如何カト思ヒマスガ、大
體私ノ考ヘラ申上ゲマス、現在ノ物
價ハ、何時モ申上ゲマスヤウニ物價水
準ト云フモノガハッキリシナイノデア
リマス、大體日本銀行アタリデ作ツテ
居リマス、實際物價指數ト云フモノ
ハ、餘リ完全ナモノデハアリマセヌ
ガ、昨年九月以來作ツテ居リマス、是
ハ言ヒ換ヘレバ、實際ニ我々が物ヲ買
フ場合ニ、米ガ幾ラ靴ガ幾ラト云フヤ
ウナ、色々ナモノヲ相當多數拾ツテ作

ツテ居ルノデアリマス、ソレデ見マス
ト——此處ニ數字ハ持ツテ參リマセヌ
デシタガ、昨年ノ九月ヲ基準ニ致シマ
スト、本年二月ハ百九十幾ラニナリマ
シテ、約二倍ニ上ツテ居リマス、ソレ
カラ御承知ノヤウニ二月ニ金融緊急措
置令ガ出マシテ、通貨ハ六百億圓ヲ超
エタモノガ一舉ニ三月ノ半バニハ百五
十何億圓カニ減リマシタ、ソノ影響ガ
多少アリマシテ、物價ハ三月四月ト下
リマシタ、ケレドモ其ノ影響ハ通貨ガ
六百億圓カラ百五十億圓ニ落チタヤウ
ナヒドイ上リ方デアリマセヌ、ソレ
カラ其ノ後又通貨ハ御承知ノヤウニ
ドソノ殖ニマシタ、即チ本年ノ三月マ
デ物價ガ多少落チマシテ、四、五、六
月カラ八月ト又下ツテ居リマス、九月
ハマダ指數ガ出來上リマセヌガ、今ノ
豫想デハ更ニ八月ヨリモ下ルヤウデア
リマス、ソナ風デ大體市中ノ實際ノ
物價ノ動キハ横這ヒ、若シハ安定
シ、最近ニ於テハ幸ヒ幾物ナドノ關係
カラ少シ下リ氣味、斯ウ云フ狀況デア
リマス、此ノ事實ハヤハリ我々トシテ
認識シナケレバナラナイノデアリマシ
テ、ヤハリ茲ニ多少ノ安定ガアルトス
レバ、之ヲ基準ニシテ考ヘルベキモノ
デアル、併シナガラ現在ノ生産ハ、例
ヘバ工場ニ致シマシテモ三十「パーセ
ント」シカ運轉サセテ居ナイ、或ハ
石炭ニ致シマシテモ標準ノ生産高ニ達
シテ居ラナイソレ故ニ「コスト」ガ高
イ、是ガ又物價ニ響イテ昂ル譯デアリ
マスカラ、ソコデ少シ先ヲ見マシ
テ、是カラ半年ナリ一年ナリ先ヲ見
テ、其ノ場合ニ石炭ハドレ程ノ生産
高ガアルカ、ドレデケノ生産高ガアレ
バドレ程ノ「コスト」ガアルカ、或ハ工

場ノ生産高ニ於テモ同様デ、ソレヲ一
ツスレバ、デアリマスカラ、現在ノ物
價ヲ基準ニシ、ソレニ生産増加ニ對ス
ル前途ノ見透シヲ加ヘタモノデ、一ツ
物價ノ基準ヲ決メルベキモノデハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居リマス、米ガ六百
圓トカ四百五十圓トカ云フモノ、未ダ
アノ通りニ決定シタモノトモ申兼ネル
譯デアリマスガ、此ノ場合モ果シテ六
百圓ヲ基準ニスベキカ、四百五十圓ヲ
基準ニスベキモノカト云フコトハ、今
申上ゲルヤウナ點ヲ考ヘテ決メルベキ
モノダト存ジテ居リマス、何レニシマ
シテモ之ヲ至急ニ定メナケレバナラヌ
ノデアリマシテ、物價廳或ハ安定本部
ノ方デモ其ノ準備ヲ致シテ居リマス、
サウ遠クナイ中ニ左様ナ點ガハツキリ
決マルダラウト思ヒマス、私ノ見込ハ
今申上ゲタヤウナ所デアリマスカラ、
隨テ産業家トシテモ左様ナ考慮ヲ若
シテ下サルナラバ、或ル程度ノ前途
ノ見透シガ付クノデハナイカト考ヘマ
ス

○苦米地(義)委員 御話ノヤウニマダ
決マツテ居ラヌトスレバ、一日モ早ク
決メナイト、實際實業界ハ迷フノガ當
然デアリマス、而モ斯ウ云フ金融政策
ハ、一方カラ言フト物價政策或ハ生産
政策ト相伴ツテ、並行的ニ進マナケレ
バナラヌト思フノガ、チグハズニナツ
テ居リマスカラドウカト思フノデアリ
マスガ、又物價ノ安定モ、必ズシモ六
百圓ガ宜イトカ四百五十圓ガ宜イト
カ、ソレハ全體ノ上カラ見透シ付ケ
テ決定スルコトデアリマセウガ、若
シ戰前ノ二十倍ト云フコトガ避ケラレ
ナイモノトスレバ、何ヲ苦シデ四百五
十圓ニシテ補給金ヲ澤山ヤラナケレバ
ナラヌカト云フコトガ、私ハアルト思

フノデス、サウ云フ點モ絡ミマスカ
ラハ一ツ至急ニ經濟安定本部其ノ他關
係先ト御協力願フテ、御決定ヲ願ヒタ
イト思ヒマス
ソレカラ序デデアリマスカラ——今
朝ノ新聞ニゴザイマスガ、補償打切り
ニ依ツテ整理サルベキ會社ノ資產評價
ノ問題、是ハ前ニ大藏大臣ハ時價ヲ以
テスルト云フコトデアリマスケレド
モ、恐ラクサウ云フコトニナラナイト
思フノデスガ、アノ評價ノ仕方及ビ其
ノ整理ノ仕方ハ、新聞ヲ見テモ能ク分
リマセヌ、此ノ際一ツ御説明願ヒタイ
ト思ヒマス

○石橋國務大臣 是モ亦ハツキリ御説
明ヲ申上ゲ兼ネルノデス、決マツテ居
ラナイノデス、昨日新聞記者ト話シ
マシタ時、色々ノ質問ニ答ヘタノヲ新
聞記者諸君ノ方デ色々綜合シ、想像ヲ
加ヘテ書イテ實ツタノデ、餘リ間違ッ
テモ居ラヌヤウデアリマス、私ノ申シ
タノトハ違ツテ居ラヌヤウデアリマス
ガ、ア、云フヤウナ色々ノ意見ガア
ル、斯ウ云フヤウニ御了承願ヒタイノ
デアリマス、今急イデ居リマスカラ、
恐ラクコ、一兩日ノ中ニハ決メ得ルト
思ヒマスケレドモ、今茲テ公式ニ御説
明申上ゲル段階ニナツテ居リマセヌ

○苦米地(義)委員 アノ件モ大分店
シニナツテ居リマシテ、サウ云フコト
ハ産業界ニ非常ニ停滯氣分ヲ起シテ居
ル譯デス、是モ一ツ一日モ早く決定シ
テヤツテ戴クコトガ宜カラウト思ヒマ
ス
ソレカラ是ハ簡單ナ問題デスガ、投
機ノ利益金ハ一體新舊トチラノ勘定ニ
入リマセウカ、投機ハ會社經理指撥令
ニ依ツテ新舊勘定ニ分レマスガ、其ノ
投機ノ營業利益ハ舊勘定ニ入リマス

フノデス、サウ云フ點モ絡ミマスカ
ラハ一ツ至急ニ經濟安定本部其ノ他關
係先ト御協力願フテ、御決定ヲ願ヒタ
イト思ヒマス
ソレカラ序デデアリマスカラ——今
朝ノ新聞ニゴザイマスガ、補償打切り
ニ依ツテ整理サルベキ會社ノ資產評價
ノ問題、是ハ前ニ大藏大臣ハ時價ヲ以
テスルト云フコトデアリマスケレド
モ、恐ラクサウ云フコトニナラナイト
思フノデスガ、アノ評價ノ仕方及ビ其
ノ整理ノ仕方ハ、新聞ヲ見テモ能ク分
リマセヌ、此ノ際一ツ御説明願ヒタイ
ト思ヒマス

○石橋國務大臣 是モ亦ハツキリ御説
明ヲ申上ゲ兼ネルノデス、決マツテ居
ラナイノデス、昨日新聞記者ト話シ
マシタ時、色々ノ質問ニ答ヘタノヲ新
聞記者諸君ノ方デ色々綜合シ、想像ヲ
加ヘテ書イテ實ツタノデ、餘リ間違ッ
テモ居ラヌヤウデアリマス、私ノ申シ
タノトハ違ツテ居ラヌヤウデアリマス
ガ、ア、云フヤウナ色々ノ意見ガア
ル、斯ウ云フヤウニ御了承願ヒタイノ
デアリマス、今急イデ居リマスカラ、
恐ラクコ、一兩日ノ中ニハ決メ得ルト
思ヒマスケレドモ、今茲テ公式ニ御説
明申上ゲル段階ニナツテ居リマセヌ

カ、新勘定ニ入リマスカ

○福田政府委員 授機ニ出マス所ノ利益金バ、私企業ノ方ハハツキリ知リマセヌガ、恐ラク金融機關ト同ジデアラフト思フノデアリマス、金融機關ノ場合ニ於キマシテハ、舊勘定ノ特別準備金トシテ保留スル、斯様ナコトニナツテ居リマス

○苦米地(義)委員 八月十五日デスカ、アノ以前ノ利益ハ舊勘定ニ移スト云フコトナラバ分ルノデセウガ、其ノ以後ノ利益金、即チ總テノ會社ハ利益ヲ年末位ニヤツテ居リマスガ、期ノ半バニ於テ損益計算ヲ出サナケレバナラヌコトニナリマスガ、或ハ一期間ヲ通ジテ損益計算ヲシテ、出シタ利益ヲ期間ニ依ツテ分ケルカ、或ハドウシテモ八月中ニ損益計算ヲ分ケテ、其ノ利益ハ、舊勘定、ソレカラ其ノ以後ニ出ルモノハ新勘定ト云フコトニナルノデアリマセウ、其ノ點ハ如何デスカ

○福田政府委員 金融機關ノ場合ニ於キマシテハ、先ヅ決算ハ八月十一日デ一應打切ルノデアリマス、更ニ次ノ決算ハ三月三十一日マデト致シマシテ、其ノ間ニハ決算ハ致サナイノデアリマス、ソレカラ其ノ次ハマデ定メテ居リマセヌガ、八月十一日ニ出ル所ノ利益金ハ、是ハ舊勘定ノ方ニ特別準備金トシテ積立テル、ソレカラ其ノ後ニ於キマシテハ新勘定、舊勘定共ニ決算ヲスル際デアリマスガ、是ハ最終的ニ新勘定、舊勘定ヲ合ハセテ決算ヲスルマデハ特別ニ積立テ置ク、斯様ナコトニ致シテ居リマス

○苦米地(義)委員 細カイコトヲ御伺ヒシナンデスガ、ソレ等ヲハツキリサセテ戴キタイト思ヒマス
ソレカラ問題ガ重フノデスケレド

モ、財界人ノ口頭談話者、是ハ今後モ相當出ルト云フ噂モアルノデスガ、大臣ノ御見込ハ如何デアリマセウカ
○石橋國務大臣 是ハ一寸見込ガ付キマセヌ

○苦米地(義)委員 ソレハ餘談ノヤウデアリマスガ、マダ打切テナイヤウナ風ニ聴キマスケレドモ、簡單ニ伺ヒマシタ、モウ一ツハ第二會社ヲ設立致シマスガ、其ノ際ニ元ノ會社ノ役員ガ第二會社ノ方ノ役員ヲ兼ねラレマセウカ、ソレハドウデセウカ

○福田政府委員 是ハ個々ノ會社ノ實情ニ應ジマシテ、或ハ兼ネル場合モアリマセウシ、或ハ又新シクナルト云フ場合モアリマセウシ、ソレハ色々アルドラウト思ヒマス

○苦米地(義)委員 是デ私ノ質問ハ終ルノデアリマスガ、最後ニ此ノ復興金融委員會ニ付テハ、皆樣カラ御話ガアリマシタカラ、私ハ重ネテ申上ゲマセヌガ、唯私ノ御尋ネシ、又希望シタイコトハ、先ノ御話ニ依リマス、役人ト銀行員ガ大多數デ、民間カラ三名取ルト云フ風ニ、銀行局長ノ御話デアリマシタガ、此ノ復興金融庫ノ性格ニ鑑ミマシテ、モット民間カラ經濟人ナリ產業人ヲ加ヘテ運用スベキデハナイデセウカ、政界方面カラモ出セト云フ要望モアリマスガ、蓋業人、經濟人ノ方ヲモット充實スル必要ガアルカノヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デセウカ

○石橋國務大臣 是ハマダ決メテ居リマセヌガ、唯職權ト申シマスルカニエツキス・オフィチイオへ入ルカドウカ、關係各省大臣、ソレカラ日本銀行總裁、アトハ決メテ居リマセヌデスカラ、其ノ點ハ相當自由ニ選擇スル積リデアリマス

○青木(孝)委員 私ハ一寸大蔵大臣ニ御伺ヒ致シマス、是ハ關聯ト申シマスルカ、將來ノコトデスガ、マダ財産稅ノ法案ハ出テ居リマセヌガ、一應御聽キシタイト思フノデス、財産稅ハ有體財産ニ付テハ課稅スルト云フコトハ分リマスガ、無體財産ト申シマスルカ、著作權トカ、特許權トカ云フモノニ付テハ課稅ナサル御考デセウカ

○石橋國務大臣 其ノ點ハ今主稅局長ガ來テ居リマセヌカラ、ハツキリシナイノデスガ、大體ハ確カデスケレドモ、間違ツテハイケマセヌカラ、御答ヘシナイ方ガ宜イト思ヒマス

○高橋委員長 青木君ニ御諮リ致シマスガ、今ノ御質問ハ、主稅局長ノ出席ヲ求メテ尙ホ御尋ネニナリマスカ

○青木(孝)委員 次ノ議會ニ致シマセウ
○高橋委員長 本案ニ對スル質疑ハ是デ終了致シマシタ、大會ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十七分散會